



モリコロパーク開園20周年
アニバーサリー・イヤー

記念講演会

聴講者
150名
募集開始
4月15日~

日時：令和8年7月15日(水) 14:00~15:45 (13:30 開場)

会場：愛・地球博記念公園 地球市民交流センター 体験学習室1・2・3

Part.1 基調講演

愛知万博の理念と、そのモデル「愛・地球博記念公園」

「愛・地球博」会場演出総合プロデューサー／造園家

涌井 史郎 氏

SHIRO WAKUI

ゲストスピーカー

ジブリパーク監督／アニメーション映画監督

宮崎 吾朗 氏

GORO MIYAZAKI

Part.2 対談

対談テーマ「モリコロパーク×ジブリパーク」



主催：[指定管理者] 公益財団法人 愛知県都市整備協会

後援：愛知県

協力：株式会社ジブリパーク

お問い合わせ：愛・地球博記念公園管理事務所 Tel.:0561-64-1130 (五藤・水野)



愛・地球博記念公園

愛知県長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1
ご来園には、リニモをご利用ください。

詳細はWEBで



愛知万博の理念は、現在の公園にどう結実しているか？

2005年の「愛・地球博」閉幕から1年後。2006年7月15日、万博の魂を継承する場所として「愛・地球博記念公園」は産声を上げました。本年開園20周年を記念し、愛・地球博の会場演出総合プロデューサーを務めた涌井史郎氏を招聘。「自然の叡智」を具現化した会場跡地の未来構想と、「ジブリパーク」の開園（2022年）を経て20年の歴史を重ねた現在の姿を紐解く基調講演を開催いたします。

さらに後半は、ジブリパークの監督である宮崎吾朗氏をゲストに迎えます。国内外から多くの観光客が訪れる、愛知県屈指の観光拠点へと成長を遂げた公園のこれから。その「エポック（新時代）」について語り合ってください。

登壇者紹介



涌井 史郎（わくい しろう） 東京都市大学 学長付客員教授／造園家・ランドスケープアーキテクト

1945年神奈川県鎌倉市生まれ。

造園家として多摩田園都市等のみどりのまちづくり、宮古島リゾート計画やハウステンボス等の多岐に亘る作品群を送り出し、一方、国土の中で脆弱な方向に傾きつつある農山村などの活性化について自然資本財としての価値やグリーンインフラとして捉えなおすことを提唱。大学教員の傍ら地方博に携わり「2005年愛・地球博」の会場演出総合プロデューサーを務めた。また「首都高大规模改修検討会」や国土交通省、環境省、農水省の各種委員会や懇談会の委員長や座長を歴任。現在は2027年横浜市上瀬谷で開催される国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」のラボチェアパーソンの立場から開催計画の推進に力を入れている。

これらの活動に対し「日本造園学会賞」「土木学会賞」「国土交通大臣表彰」「黄綬褒章」「仙台市特別市政功労者賞」等を授与され、マスコミでもTBS「サンデーモーニング」、BS-TBS「関口宏の一番新しい江戸時代」などでコメンテーターを務めるなど、多方面で活躍。

ゲスト紹介



宮崎 吾朗（みやざき ごろう）

ジブリパーク監督／アニメーション映画監督

1967年東京都生まれ。

大学で森林工学を学び、卒業後は建設コンサルタントとして公園緑地や都市緑化などの計画、設計に従事。1998年より三鷹の森ジブリ美術館の総合デザインを手掛け、初代館長を務める。

2006年『ゲド戦記』でアニメーション映画初監督。2022年に開園した「ジブリパーク」では、制作全体を指揮した。

司会者



平野 裕加里（ひらの ゆかり）
元CBC中部日本放送アナウンサー
有限会社LIBRA代表



一般聴講 申し込み

右の二次元バーコードを読み取り
申込フォームに必要事項を記載し
お申し込みください。

応募期間：4月15日（水）9:00から
4月30日（木）16:00迄

※応募者多数の場合は抽選となります。

※抽選結果は当選者のみ、5月下旬に
登録されたメールアドレスへ送信。



申込フォーム：<https://forms.gle/BBMaDzWWcJY4iVo58>

会場のご案内



当日、講演会の様子をYouTubeにてライブ配信します！
https://www.youtube.com/@morikoropark_aichi_japan



県営都市公園にベンチ
を寄附しませんか？
詳しくはこちら

